

PS3 Nor and Nand Auto Patcherのv0.04では、FSM1に入れるDGドングルが無くても Rogero CFW4.40 なら直接入れられるようになった。

対象は 初期FW3.55以下(metldr2が無いFW3.56も)

と以前と変わらないが、CFW4.40を入れる手順が大幅に簡素化される。

もし以前のFWがOFW4.40ならXMBのシステムアップデートでCFW4.40が導入でき、それ以外でも画面の指示に従って導入することが可能。

CFW4.40からFW3.55のダウングレードも手順を踏めば入れられる。(初期FW3.55以下のみ)

必要なもの

ハードウェア

E3 Flasherを取り付けたPS3

MicroSDカード(以下"MSD") ファイルシステムはFATかFAT32

最低でも256MB以上のUSBメモリ(USBストレージ) ファイルシステムはFATかFAT32

ソフトウェアデータ

Rogero CFW4.40 v1.03 - ファイル名は「PS3UPDAT.PUP」に変えてください。

PS3 Nor and Nand Auto Patcher v0.04 -

バックアップしたFlashにCFW4.40をインストールしやすくしてくれるパッチを当てるツール。

BwE NOR Validator - バックアップしたFlashのチェックツール。

1. NOR Flashのバックアップ(Flashダンプ) 1-1. E3

Flasherの6つある上下できるトグルスイッチを使ってバックアップモードに設定する ↓ ↓
↑ ↓ ↓ ↓

1-2. 空のMSDをE3 Flasherに入れる。

1-3. PS3を起動させ、15秒間そのままにしておく。

1-4. E3 FlasherのSTARTボタンを押す。

バックアップが開始される。数分かかります。

8個のLEDが左から1つつ点灯し、終わったらLEDが交互に点滅する。 1-5.

PS3をシャットダウンさせる。

1-6. MSDを取り出す。

1-7. MSDの内容をPCに保存しておく。

中身はログファイルと、ダンプされた「bkpps3.bin」または「bkpps30.bin」「bkpps31.bin」「bkpps32.bin」が入っている。

三つの方は2011.11.22のアップデートからの機能で、三回連続してダンプされたファイル。(以下「bkpps3.bin」として記述)

注意: 「bkpps3.bin」をプロパティで開いてファイルサイズを確認してください。

もし「16.0 MB (16,777,216 バイト)」以外なら、不完全なファイルですのでもう一度やり直して下さい。

数回バックアップしてみてファイルのハッシュ(CRC32やMD5など)を調べ、複数ファイルの整合性も確認した方が良いです。「BwE NOR

Validator」で問題無いファイルかどうか検証できます。

2. bkpps3.binにPatchを当てる

2-1. 「PS3 Nor and Nand Auto Patcher

v0.04]と同じフォルダに「bkpps3.bin」をコピーする。

2-2.

「bkpps3.bin」を掴み、「PS3_Nor_and_Nand_Auto_Patcher_v0.04.exe」にドロップさせる。

※ XPなどはコマンドラインで指定しないとダメです。

コマンドで指定するか、このパッチファイルをプログラムと同じフォルダに置いて、バッチに「bkpps3.bin」をドロップさせて下さい。

プログラムが起動し自動的にパッチを当ててくれる

You Nor Dump was successfully patched and is ready to be flashed. Press any key to exit.

と出ればプログラムを閉じる。

同フォルダに「bkpps3_NOR_patched.bin」が作成されている。

3. 「FLASH FUN」モードでFlash書き込み

- 3-1. MSDに「bkpps3_NOR_patched.bin」をコピーし「bkpps3.bin」とリネーム。

3-2. PS3背面の電源ケーブルを抜いておく。

3-3. PS3前面のeSATAのケーブルを抜くor「ESATA STATION(外付けHDD)」の電源を切っておく

3-4. PS3のUSBポートは全て抜いておく。

3-5. MSDをE3 Flasherに入れる。

3-6. [E3 Flasher](#) のトグルスイッチを設定する ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

3-7. PS3の電源ケーブルを挿し込む。

3-8. PS3を起動させ、15秒間待機したあとE3 FlasherのSTARTボタンを押す。

Flash書き込みが開始される。数分かかります。

8個のLEDが左から1つつ点灯し、終わったらLEDが交互に点滅する。 3-9.

PS3の電源ケーブルを抜く。

3-10. E3 Flasherのトグルスイッチを「FLASH FUN」から「PS3 MODE」に ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

↓

※ ESATA STATION (外付けHDD) を使わず、内蔵HDDでDGするなら

4. CFWのインストール

4-1. HDMI端子またはAVマルチ端子を接続する。

4-1. SATAのケーブルを挿すor「ESATA STATION(外付けHDD)」の電源をONにする。

4-2. PS3の電源ケーブルを挿し込み、PS3を起動させる。

4-3. 既にインストールされているFWがOFW4.40だった場合は画面にはXMBが表示される。

それ以外のFWの場合は「コントローラをUSBケーブルで接続して、PSボタンを押してください。」と表示される。

4-4. 空のUSBメモリに「Rogerio CFW4.40」を以下の構成を作りコピー。

USBメモリ：PS3 /UPDATE /PS3UPDAT.PUP

(「PS3」「UPDATE」はフォルダ、「PS3UPDAT.PUP」はファイル名+拡張子)

4-5. PS3の一番右のUSBポートにUSBメモリを挿し込む

4-6.

OFW4.40だった場合はXMBで「設定」→「システムアップデート」→「記録メディアからアップデート」を選択しインストール。

それ以外のFWなら左のUSBポートにコントローラを接続し、画面の支持に従ってインストールする。

4-6. 無事インストールできれば成功です。お疲れ様でした。

E3 Flasherを使ったダウングレード

作者： ndsplay

2014年 10月 16日(木曜日) 16:11 -
